



新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

TOPICS

- ◇ 老子「上善の言葉」
- ◇ 所内近況
- ◇ 今月のスタッフの声
- ◇ お仕事備忘録
- ◇ 編集後記
- ◇ お客様インタビュー

○孔子、吉田松陰、荘子とご紹介してきましたが、今年は『老子』をご紹介します。

老子「上善の言葉」

まず第1回目は、『老子』とはどんな人物か

『老子』（『老子道德経』）は、『論語』と並ぶ中国の二大思想書としていまも世界中で読まれており、その著者とされているのが老子という人物です。

『老子』が書物として成立したのが、中国の戦国時代（紀元前403年～紀元前221年）の初期から中期と考えられているので、それ以前に生まれていた人物ですが、その姿は謎に包まれたままです。

まず、老子の思想をおおまかに言ってしまうと、人も自然界の一部であることを忘れず、自然の理にさからわない生き方を提唱するもの。一言で表すなら自然回帰の思想なのです。

宮下真著「心の疲れがすうっと消える 老子 上善の言葉」より抜粋



【発行者】

長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111 FAX 06-6944-2110
Mail nagata@office-smile.jp
HP <http://office-smile.jp/>

【編集部】

編集長 大江 未咲（おおえみさき）
部員 遠藤 悦代（えんどうえつよ）
小倉 優花（おぐらゆうか）
発行責任者 長田 雅子（ながたまさこ）



新年のご挨拶

2017年、酉年が始まりました。十二支の考え方では、酉のつく年は商売繁盛につながると考えられています。酉は「取り込む」につながるといわれ、そこからも運氣もお客様も取り込めるといふものだそうです。

長田会計事務所の今年のテーマは「進化」です。進化とは、生物学的には、生物が周囲の条件やそれ自身の内部の発達によって、長い間にしだいに変化し、種や属の段階を超えて新しい生物を生じるなどすることです。また、事物が進歩して、よりすぐれたものになることも示します。

会計事務所業界は、手段としてそろばんから、大型コンピューター、会計ソフトを経て、AIを使ったクラウド会計になり、外部環境の変化に大いに影響を受けてきました。また、新規開業件数が年々減少していく中、求められるサービスは複雑化してきています。そして、税理士を目指す人が年々減少していく中、昨年は税理士を目指す新入社員2名を迎えることができました。そのため、所内では社内勉強会を通じて知識と心を磨いていくことで事務所の「進化」を進めていきたいと考えています。

今年は、事務所の10年ビジョンをたてました。ビジョンとは、一般的には「未来像」をいいます。経営理念に基づいて、「こうありたい」という姿、自分たちの将来のありたい姿を魅力的な目標像としてイメージして明確に描くことで、目指すべき長期的な方向性や、やるべきことがおのずと明らかになります。そして、そのことを掲げることで意欲は高まりチームは組織として自立的に動くことができます。

私たちの経営理念は、

(経営理念)

- 私たちは、会計と税務を軸とした中小企業支援の専門家として、
- 一、お客様の笑顔のために、元気を届け、夢の実現に貢献します。
 - 一、互いに感謝しあい、共に学びあうチームであり続けます。
 - 一、和を創造し、いきいきとした社会を育みます。

そして、10年ビジョンは、「100を120にできるチームである」です。10年後、どうなるか分かりませんが、分からないからこそ、こうなりたいという思いを掲げ、進んでいきます。本年もどうぞよろしく願いいたします。



長田会計事務所 所長 長田雅子



今月のスタッフの声

長田 豊

事務所の内装が少し変わった。
応接室と事務室の間に引き戸ができ、事務室に入るときに、スタッフの皆さんと顔を合わせるの少し気が入る。

どんな挨拶をしようかと楽しみにも思える。

笑いを取れたら、いい1日の始まりだ。



長田 雅子

先日奈良県の三峰山（みうねやま）に雪山登山に行ってきました。丁度寒波が来ていた時だったので、頂上付近では霧氷を見ることができました。

霧氷は、水蒸気や霧が氷点下に冷やされ、樹枝などに凍りついたもの。寒いけれどとてもきれいな氷の世界を鑑賞しました。自然は素晴らしい。



遠藤 悦代

今年のお正月は穏やかで過ごしやすかったですね。
お正月は毎年、岡山の祖母のところで年を越します。今年は30日には餅つきを2日には箱根駅伝を見ながら食事会を、3ヶ月の赤ちゃんから93歳の祖母まで親戚みんなで集まって楽しく過ごしました。子供たちは畑で大根を引いたりするのも楽しかったようです。元気に走り回っていました。

こんなお正月を過ごせるのはありがたく、幸せです。



小向 紗妃

10年ぶりぐらいに年賀状を書きました。学生頃には全然書かなかった年賀状を久しぶりに書くには、絵を選ぶところから苦戦しましたが、なんとか期限内に出すことができました。

お手紙や年賀状など書く機会はあまりないので、大人になって年賀状を出すことの良さに気づきました。

来年からも毎年、年賀状出せたらいいなと思います。



大江 未咲

お正月は和歌山の実家に帰省していました。

毎年、大晦日は我が家に親戚が集まり宴会をします。最近では祖父母が亡くなったり、甥っ子が生まれたりしたこともあり、寂しい気持ちや嬉しい気持ち、なつかしさを感じながら毎年この時間を楽しんでいます。

私は“毎年恒例”というものが好きなので、この集まりもずっと続けば良いなと思っています。



石原 采香

昨年大掃除をした際に、クローゼットから子供のころのアルバムが出てきました。ページをめくる度に私の髪型や服装がころころ変わる事や、色々な場所に連れて行ってもらっている事、時々母のコメントが貼られている事から両親の愛情を感じました。父は撮影係でほとんど写っていませんでしたので、今度は私が家族の写真を撮って思い出を残していこうと思います。私は今年から社会人になり忙しくなりますが、家族との時間も大切にしていきたいです。



4月に新入社員を受け入れる事業者は、受け入れる準備を開始する時期です。また、4月から給与改定を行う場合には昇給の準備を検討する時期でもあります。春に向けて早めに準備を開始しておきましょう。

2017年2月

お仕事備忘録

- 1. 固定資産税の納付（第4期分）
- 2. 確定申告（書面）の受付開始
- 3. 国民年金保険料の「2年前納」の手続き
- 4. 労働保険料等の口座振替納付の申込
- 5. 4月昇給の場合の資料収集等の準備
- 6. 新入社員の受入準備
- 7. 火災予防運動に伴い、消防設備等の点検実施

編集後記

新年を迎え、通信のフォーマットも一新しました！

手さぐりな状態で作成しており、もしかすると少しずつ変えていく部分も出てくるかもしれません。

そんなところも楽しんでいただければ幸いです。



人の輪 数珠つなぎ

事務所では、毎日朝礼をしています。

朝礼では、その日の業務予定を共有する他に、経営者の方が著された、人生や仕事、経営や社会に関する言葉を輪読しています。

今年の著書は稲盛和夫さんの「心を高める、経営を伸ばす」です。その著書の中に有名なお話がありました。

「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」です。

能力とは頭脳のみならず健康や運動神経も含みますが、多分に先天的なものです。しかし、熱意は、自分の意思で決められます。能力と熱意はそれぞれ0点から100点まであり、それをかけます。そしてこれに考え方が加わります。

考え方とは、人間としての生きる姿勢であり、マイナス100点からプラス100点まであります。（中略）素晴らしい考え方、つまり人生哲学を持つか持たないかで、人生は大きく変わってくるのです。”（著書より）

私もこれまで色々な方に出会いました。その方々と話していると、自分が共感することだったり、自分にはない視点の内容だったりして、学びや気づきが多くあります。

今年は、事務所新聞の中で当事務所に関わりのある経営者や専門家の方にインタビューを行って、経営のヒントやご苦労されたお話などを紙面に載せていきます。お楽しみに。

